

「第10回山科夢舞台」を開催 入場無料

(山科“きずな”支援事業補助金交付事業)



恒例となりました山科夢舞台。今回は「絆深まる京のまち～山科夢物語」をテーマに繰り広げられます。地域の高校生、大学生が実行委員会を立ち上げ、自らの力で立案・企画してゆく手作りのイベントです。今回はスポーツジャーナリス

トの二宮清純氏が記念講演を行うほか、地域の中学・高校生や大学生たちのグループの吹奏楽やダンスなど躍動感のある舞台が展開されます。



二宮清純氏

- 日時 / 2月2日(日)午後1時開演(開場/午後0時)
- 場所 / 東部文化会館
- 申込み / 不要
- 問合せ先 / 一般社団法人山科経済同友会：山科夢舞台実行委員会 (☎501-1818)

山階南体振チームが悲願の初優勝!

市チャンピオン大会(女子バレーボール)



昨年11月24日に、京都府立体育館で開催された同大会に、山科区から、9月に開催した「山科区民チャンピオン大会」で優勝した山階南チームが出場しました。山階南チームは大会7連覇を目指す伏見区代表の羽束師チームを1回戦

で破るなど、強豪チームを抑え、怒涛の勢いで見事、初優勝の栄冠を手に入れました。

●問合せ先 / 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)



山科劇場 婚活イベント

「星婚～星に願いを」

1年で1番星空がきれいな冬、バレンタインデー直前の土曜日に京都大学花山天文台で天体観望をしながら、山科で出会いの場をご提供します。



- ★日時 / 2月8日(土)午後3時～午後8時30分頃
- ★場所 / 京都大学花山天文台および東山山荘
- ★内容 / 東山山荘で和菓子・抹茶を楽しみながら自己紹介やゲーム、立食ビュッフェディナー。花山天文台での天体観望や4次元宇宙シアター鑑賞。
- ★応募資格 / 市内に在住または通勤されている25～45歳の独身男女 ※年齢は開催当日時点
- ★参加費 / 男性・女性ともに8,500円(要事前支払)
- ★定員 / 48名(男女各24名) ※申込多数の場合は抽選
- ★申込方法 / 山科劇場ホームページの申込フォームに必要事項を入力
- ★申込締切 / 1月27日(月)〔必着〕
- ★申込・問合せ先 / 「地下鉄集客・交流プロジェクト～山科・感動ツーリズム」実行委員会事務局 〒604-0857中京区烏丸通二条上ル株式会社関広内 (☎253-1661 / FAX253-1662) 山科劇場ホームページ (http://www.yamashina-gekijo.com)

第23回 山科区民ニュースポーツ祭

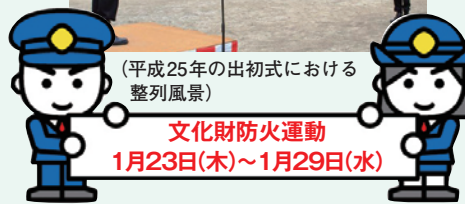
昨年11月10日、第23回山科区民ニュースポーツ祭が開催されました。グラウンド・ゴルフ大会は、雨のため中止となりましたが、ソフトバレーボール大会は、白熱した試合が展開され、大宅体振チームが3年ぶりの優勝を手に入れました。優勝：大宅B 準優勝：勧修 3位：大塚、西野A 優秀賞：陵ヶ岡B、山階南A、小野A



●問合せ先 / 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

山科消防団出初式

●日時 / 平成26年1月19日(日) 午前10時から午後0時まで
●場所 / 山科中央公園(雨天中止)
新年恒例の山科消防団出初式を開催します。当日は、消防団員による分列行進訓練や、功績のあった消防団員に対する表彰が行われます。山科区の防火・防災のリーダーとして、地域の安心・安全の守りにつく山科消防団員の規律と決意に



(平成25年の出初式における整列風景)

文化財防火運動 1月23日(木)～1月29日(水)

ご声援ください。 ●問合せ先 / 山科消防署 (☎592-9755)

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

第21回 連載 区民活動きずなリレー

～わくわくするようなアートに 出会える山科を目指して～ (山科“きずな”支援事業補助金交付事業)

NPO法人わくわくは、わくわくするようなアートをきっかけとして、障害の有る無しを超えて、山科にきずなが生まれる空間を作り出そうと活動をしています。



真剣な眼差し

ショップを開催し、専門の講師の指導を受けながら毎回20人程の参加者が、楽しみながら作品を仕上げました。3月には旧三条通沿いにあるギャラリーで展示会を開催し、所狭しと並ぶ作品に囲まれて、制作者が来場者と交流しました。

法人の理事、近藤さんに活動の経緯などを伺いました。「知的障害のある方の集まりである太陽クラブというサークルから外出の際のボランティア募集があり、そこに集まった人を中心に結成されたのが“わくわく”というグループです。」とのこと。近藤さんは障害者に関わること

もボランティアの活動をすることも全く初めてで、たまたま募集の新聞記事を見て参加したそうですが、それから何と10年以上も関わることになりました。「障害のある方と接するのは初めてでしたが、本当に面白い方が多く、つきあうのが楽しいと思いました。また、集まったボランティアのエネルギーもすごくて、当初は1年限りでの募集だったんですが、終わって解散するのはもったいないと、みんなで続けることにしたんです。」

結成後は、外出のサポートや家事の援助等を中心に活動し、2003年にNPO法人となり、グループホームの運営もしているそうです。

今年度のワークショップではTシャツ作りに3回分の時間をかけるなど、1回のプログラムに余裕



山科ヘンテコ動物園 完成!

を持たせ、参加者間の交流を深めようと模索しています。発表の場も、昨年と同じギャラリーにするのか、それとも違った形にするのか検討中だそうです。

“わくわく”するステキな発表の場、期待しています!

●問合せ先 / 区総務・防災担当 (☎592-3066)